

平成22年2月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年9月18日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 あさひ

コード番号 3333 URL <http://cb-asahi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 下田 進

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 古賀 俊勝

TEL 06-6923-2611

四半期報告書提出予定日 平成21年10月2日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年2月期第2四半期の業績(平成21年2月21日～平成21年8月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年2月期第2四半期	14,476	—	2,559	—	2,598	—	1,496	—
21年2月期第2四半期	11,743	22.5	1,821	55.0	1,805	48.2	968	52.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年2月期第2四半期	114.08	—
21年2月期第2四半期	77.97	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年2月期第2四半期	13,758	9,565	69.5	729.05
21年2月期	12,296	8,257	67.2	629.36

(参考) 自己資本 22年2月期第2四半期 9,565百万円 21年2月期 8,257百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
(基準日)	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年2月期	—	—	—	12.00	12.00
22年2月期	—	—	—	—	—
22年2月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

平成21年2月期期末配当金の内訳 普通配当 10円00銭 記念配当 2円00銭

平成22年2月期(予想)の1株当たり配当金については、平成21年8月17日付で公表しております株式分割(平成21年10月1日付にて、普通株式1株につき2株に分割)を勘案した金額を記載しております。

3. 平成22年2月期の業績予想(平成21年2月21日～平成22年2月20日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,892	19.6	3,487	34.4	3,542	33.6	2,058	40.1	78.46

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

平成22年2月期の業績予想における1株当たり当期純利益については、平成21年8月17日付で公表しております株式分割(平成21年10月1日付にて、普通株式1株につき2株に分割)を勘案した金額を記載しております。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔注〕詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

〔注〕詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	22年2月期第2四半期	13,120,400株	21年2月期	13,120,400株
② 期末自己株式数	22年2月期第2四半期	139株	21年2月期	50株
③ 期中平均株式数（四半期累計期間）	22年2月期第2四半期	13,120,279株	21年2月期第2四半期	12,420,400株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化により上記予想数値と異なる場合があります。

2. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

・定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間中のわが国経済は、不況下における企業の在庫調整の進展や対外経済環境の改善等により、景気の底打ちの兆しが見えてきたものの、引き続き雇用情勢は悪化しており、それに伴う全国的な消費低迷が続いております。

こうした状況の中で、当社の自転車販売においては、専門店としての幅広い品揃えとサービスが支持され、中でも比較的単価の高いスポーツバイクや電動アシスト自転車などの販売が好調に推移しました。

また、販売チャンネルについても、大型自転車専門店の直営及びフランチャイズ展開での店舗販売、インターネット販売、ホームセンターや総合スーパー等への商品供給事業の3つの柱により、多様な顧客ニーズに対応することができ、引き続き高い成長力を維持することができました。

当第2四半期累計期間における新規出店につきましては、購買者層の厚い関東地域への積極的な出店を行い、関東地域へ7店舗、中部地域へ2店舗、関西地域へ2店舗、中国地域へ1店舗、九州地域に2店舗の計14店舗を出店しております。またF C（フランチャイズ）店を中部地域へ1店舗出店しております。この結果、当第2四半期末店舗数は直営店171店舗、F C店14店舗のあわせて185店舗となりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間における売上高は14,476百万円（前年同期比23.3%増）、となりました。利益面では、営業利益は2,559百万円（前年同期比40.5%増）、経常利益は2,598百万円（前年同期比43.9%増）、四半期純利益は1,496百万円（前年同期比54.6%増）となりました。

なお、前年同期比は参考として記載しております。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1)資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の総資産の残高は、前事業年度末と比べ1,461百万円増加し、13,758百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末と比べ938百万円増加し、7,285百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加836百万円、売掛金の増加242百万円、商品の減少186百万円等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末と比べ522百万円増加し、6,472百万円となりました。これは主に、新規出店に伴う建物の増加137百万円、本社用地取得による土地の増加177百万円、差入保証金の増加78百万円等によるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債の残高は、前事業年度末と比べ153百万円増加し、4,193百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末と比べ130百万円増加し、3,954百万円となりました。これは主に、未払法人税等の増加371百万円、賞与引当金の増加34百万円、その他の負債の増加198百万円、短期借入金の減少460百万円等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末と比べ22百万円増加し、238百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産の残高は、前事業年度末と比べ1,307百万円増加し、9,565百万円となりました。これは主に、四半期純利益による増加1,496百万円、剰余金の配当による減少157百万円等によるものであります。

(2)キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末と比べ836百万円増加し、3,057百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は2,280百万円となりました。主な増加要因は、税引前四半期純利益2,577百万円、減価償却費205百万円、たな卸資産の減少額193百万円、未払消費税等の増加額86百万円、賞与引当金の増加額34百万円等、主な減少要因は、法人税等の支払額762百万円、売上債権の増加額242百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は827百万円となりました。主な要因は新規出店及び本社に係る有形固定資産の取得による支出622百万円、差入保証金の差入による支出110百万円、建設協力金の支払による支出81百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は615百万円となりました。主な要因は短期借入金の純減少額460百万円、配当金の支払額155百万円等によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成22年2月期通期個別業績予想数値は、第2四半期累計期間の好調な業績を織り込んだうえで、下期の当初計画に対する設備投資等の進捗を見直し、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益を修正しております。

なお、平成22年2月期の業績予想については、平成21年8月31日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表いたしております。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

②棚卸資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有する棚卸資産については、従来、主として総平均法及び最終仕入原価法によっていましたが、第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会平成18年7月5日 企業会計基準第9号)が適用されたことに伴い、主として総平均法及び最終仕入原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算出しております。なお、この変更に伴う、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(3) 追加情報

有形固定資産の耐用年数の変更

平成20年度の法人税法改正を契機に、有形固定資産の耐用年数の見直しを行った結果、機械及び装置の一部については、第1四半期会計期間より改正後の法人税法に基づく耐用年数に変更しております。なお、この変更に伴う、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年8月20日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年2月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,183,446	2,346,806
売掛金	622,217	380,158
商品	2,648,127	2,835,033
未着商品	245,075	233,035
貯蔵品	82,126	101,231
その他	506,992	451,542
貸倒引当金	△2,298	△960
流動資産合計	7,285,688	6,346,847
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,081,660	1,944,393
土地	1,610,708	1,432,907
その他（純額）	293,669	236,428
有形固定資産合計	3,986,039	3,613,729
無形固定資産	42,502	40,775
投資その他の資産		
差入保証金	1,392,558	1,314,438
建設協力金	735,776	691,869
その他	354,275	303,601
貸倒引当金	△38,315	△14,355
投資その他の資産合計	2,444,294	2,295,555
固定資産合計	6,472,836	5,950,059
資産合計	13,758,525	12,296,907
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,465,355	1,475,057
短期借入金	—	460,000
未払法人税等	1,163,825	792,063
賞与引当金	268,059	233,581
役員賞与引当金	8,800	13,250
その他	1,048,219	849,356
流動負債合計	3,954,261	3,823,308
固定負債		
役員退職慰労引当金	158,198	149,580
その他	80,680	66,600
固定負債合計	238,878	216,180
負債合計	4,193,140	4,039,489

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年8月20日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年2月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,061,356	2,061,356
資本剰余金	2,165,171	2,165,171
利益剰余金	5,336,454	3,997,076
自己株式	△239	△84
株主資本合計	9,562,743	8,223,519
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,641	2,249
繰延ヘッジ損益	—	31,649
評価・換算差額等合計	2,641	33,898
純資産合計	9,565,385	8,257,418
負債純資産合計	13,758,525	12,296,907

(2) 【四半期損益計算書】
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成21年2月21日 至 平成21年8月20日)
売上高	14,476,364
売上原価	7,120,227
売上総利益	7,356,136
販売費及び一般管理費	4,796,289
営業利益	2,559,846
営業外収益	
受取利息	7,182
受取配当金	60
為替差益	11,482
受取家賃	20,856
その他	10,918
営業外収益合計	50,500
営業外費用	
支払利息	376
不動産賃貸原価	8,548
その他	3,393
営業外費用合計	12,318
経常利益	2,598,028
特別損失	
固定資産除売却損	3,261
貸倒引当金繰入額	17,612
特別損失合計	20,873
税引前四半期純利益	2,577,154
法人税、住民税及び事業税	1,132,000
法人税等調整額	△51,667
法人税等合計	1,080,332
四半期純利益	1,496,822

【第2四半期会計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間 (自 平成21年5月21日 至 平成21年8月20日)
売上高	6,786,969
売上原価	3,267,036
売上総利益	3,519,933
販売費及び一般管理費	2,378,371
営業利益	1,141,562
営業外収益	
受取利息	3,669
為替差益	1,996
受取家賃	11,856
その他	7,832
営業外収益合計	25,354
営業外費用	
支払利息	26
不動産賃貸原価	5,639
その他	1,980
営業外費用合計	7,645
経常利益	1,159,270
特別損失	
固定資産除売却損	2,896
特別損失合計	2,896
税引前四半期純利益	1,156,374
法人税、住民税及び事業税	483,000
法人税等調整額	4,588
法人税等合計	487,588
四半期純利益	668,785

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成21年2月21日 至 平成21年8月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	2,577,154
減価償却費	205,205
長期前払費用償却額	6,490
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	25,298
賞与引当金の増減額 (△は減少)	34,478
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,450
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	8,618
受取利息及び受取配当金	△7,242
支払利息	376
固定資産除売却損益 (△は益)	3,261
売上債権の増減額 (△は増加)	△242,058
たな卸資産の増減額 (△は増加)	193,970
未収入金の増減額 (△は増加)	△36,688
仕入債務の増減額 (△は減少)	△9,701
未払消費税等の増減額 (△は減少)	86,001
未払金の増減額 (△は減少)	4,905
預り敷金及び保証金の受入による収入	14,080
その他	182,893
小計	3,042,593
利息及び配当金の受取額	852
利息の支払額	△294
法人税等の支払額	△762,774
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,280,377
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△622,058
無形固定資産の取得による支出	△7,685
貸付けによる支出	△596
貸付金の回収による収入	316
長期前払費用の取得による支出	△17,806
差入保証金の差入による支出	△110,901
差入保証金の回収による収入	11,838
建設協力金の支払による支出	△81,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△827,892
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△460,000
自己株式の取得による支出	△154
配当金の支払額	△155,704
財務活動によるキャッシュ・フロー	△615,859
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	836,624
現金及び現金同等物の期首残高	2,220,640
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,057,265

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1)中間損益計算書

	前中間会計期間 (自 平成20年 2月21日 至 平成20年 8月20日)		
区分	金額(千円)		百分比 (%)
I 売上高		11,743,115	100.0
II 売上原価		5,839,087	49.7
売上総利益		5,904,027	50.3
III 販売費及び一般管理費		4,082,707	34.8
営業利益		1,821,320	15.5
IV 営業外収益		47,189	0.4
V 営業外費用		62,774	0.5
経常利益		1,805,734	15.4
VI 特別損失		24,359	0.2
税引前中間純利益		1,781,375	15.2
法人税、住民税及び事業税	812,000		
法人税等調整額	919	812,919	7.0
中間純利益		968,455	8.2

(2)中間キャッシュ・フロー計算書

	前中間会計期間 (自 平成20年2月21日 至 平成20年8月20日)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1 税引前中間純利益	1,781,375
2 減価償却費	172,322
3 長期前払費用の償却額	5,392
4 地代家賃のうち建設協力金との相殺額	28,784
5 貸倒引当金の減少額	△440
6 賞与引当金の増加額	19,091
7 役員賞与引当金の減少額	△ 12,825
8 役員退職慰労引当金の増減額	△ 87,266
9 受取利息及び受取配当金	△5,363
10 支払利息	1,884
11 固定資産除売却損	24,359
12 売上債権の増加額	△273,654
13 たな卸資産の増減額	△271,502
14 未収入金の増加額	△61,002
15 仕入債務の増減額	448,332
16 未払消費税等の増加額	24,816
17 未払金の増減額	11,159
18 預り保証金の受入による収入	10,000
19 その他	82,157
小計	1,897,621
20 利息及び配当金の受取額	467
21 利息の支払額	△1,936
22 法人税等の支払額	△381,790
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,514,362
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1 有形固定資産の取得による支出	△809,504
2 無形固定資産の取得による支出	△8,978
3 貸付けによる支出	△370
4 貸付金の回収による収入	214
5 長期前払費用の支出	△35,047
6 差入保証金の差入による支出	△57,336
7 差入保証金の返還による収入	5,389
8 建設協力金の支出	△113,500
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,019,133
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1 短期借入金の純増減額	200,000
2 長期借入金の返済による支出	△19,998
3 配当金の支払額	△123,781
財務活動によるキャッシュ・フロー	56,220
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△0
V 現金及び現金同等物の増減額	551,449
VI 現金及び現金同等物の期首残高	706,197
VII 現金及び現金同等物の中間期末残高	1,257,646

6. 【仕入及び販売の状況】

(1) 仕入実績

当第2四半期累計期間の仕入実績を品目別に示すと次のとおりであります。

品目別	当第2四半期累計期間 (自 平成21年2月21日 至 平成21年8月20日)	
	金額(千円)	前年同期比(%)
自転車	5,296,548	112.8
パーツ・アクセサリ	1,367,309	116.5
その他	274,747	127.8
合計	6,938,606	114.1

注 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 販売実績

当第2四半期累計期間の販売実績を品目別に示すと次のとおりであります。

品目別	当第2四半期累計期間 (自 平成21年2月21日 至 平成21年8月20日)	
	金額(千円)	前年同期比(%)
自転車	9,959,473	124.4
パーツ・アクセサリ	2,963,690	120.5
ロイヤリティ	52,566	116.7
その他	1,500,633	121.9
合計	14,476,364	123.3

注1 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2 総販売実績に対する販売割合で10%以上の相手先はありません。